



MetLife
BWF WORLD
SUPERSERIES

世界超戦

世界へつながる戦いがここにある



**YONEX OPEN
JAPAN 2015**

2015. 9.8 (火) — 9.13 (日)

東京体育館 大会公式ホームページ www.yonexopenjp.com ヨネックスオープン 検索

●主催：公益財団法人日本バドミントン協会 (NBA) ●公認：世界バドミントン連盟 (BWF)
●主管：東京都バドミントン協会 ●後援：東京都 ●冠協賛：ヨネックス株式会社 ●協力：ベースボール・マガジン社

第34回ヨネックスオープンジャパン



MetLife
メットライフ生命





YONEX OPEN JAPAN 2015

第34回 ヨネックスオープンジャパン

第34回

ヨネックスオープンジャパン2015 バドミントンスーパーシリーズ

世界の超人と JAPANが激突!

バドミントンの世界トップランカーが9月、東京に集結する。
今年は2016年リオ・デ・ジャネイロ五輪出場に関わる重要な一戦となるため、
どの選手もいつも以上に本気モード。
世界のハイクオリティなスピード&テクニックを見逃すな!

世界の超人が日本に集結!

日本はいま、真の世界一をめざす国へと変貌している。昨年のトマス杯では男子代表が初の優勝に輝き、ユーバー杯でも女子代表が準優勝を飾り日本の躍進を印象づけた。それ以降も、世界選手権で女子シングルの三谷美津津、女子ダブルスの前田美順/垣岩令佳が銅メダルを獲得。高橋礼華/松友美佐紀は世界ランク上位選手で争うスーパーシリーズファイナルで女子ダブルス優勝を果たすなど、ビッグトーナメントの表彰台に日本選手が立つ姿も増えてきた。

そして今年5月のスディルマン杯。日本は韓国、デンマークら名だたる強豪国を退けて準優勝。主将を務めた早川賢一は「この成績は日本全体の実力が上がった証拠」と、いまや中国を含めたどの国にも対等に戦える自信を力強く語っている。10年以上前は「世界に追いつけ、追い越せ」で強化を続けた日本。わずかな時間でその距離を縮め、もはや世界上位国として追われる立場となっている。

五輪出場につながる大事な一戦 初戦からハイレベルな戦いに

「史上最強」ともいえる JAPAN 戦士がホームとして海外の精鋭を迎え撃つヨネックスオープンジャパン。各

国のエース級が参戦する伝統の大会であり、毎年激しいラリーがコート上で繰り広げられる。リオ五輪の出場権を争う五輪レースが5月から始まり、より一層選手の気合いも高まっている。また、本大会の格付けは五輪出場に関わる世界ランキングのポイントが高いスーパーシリーズ。上位進出者には高ポイントが入るため、1回戦からハイレベルな勝負の連続が予想される。

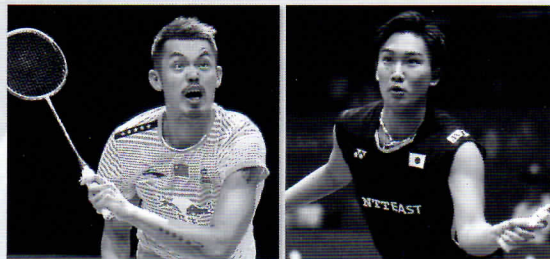
世界のトップランカーが来日 激しいラリーの応酬を見逃すな!

各種目には、世界最高峰のプレーヤーが出場予定だ。とくに男子シングルスでは、マレーシアの英雄・リー・チョンウェイ、そして「キング・オブ・バドミントン」林丹(中国)らレジェンドプレーヤーたちが参戦。チョンウェイは本大会を5度制覇しており、林丹も05、06年と2連覇の実績がある。世界ランク1位の諶龍(中国)や同3位のヤン・オ・ヨルゲンセン(デンマーク)ら世界トップランカーも集結するため、至高のプレーが間近で楽しめそうだ。

女子シングルスには昨年の世界選手権女王で、今年の全英選手権覇者でもあるキャロリナ・マリネン(スペイン)や、世界ランク1位に君臨したインドの至宝・サイナ・ネワールらが出場。ここ数年は男女ともに中

国選手との差も縮まっており、誰が勝っても不思議ではない群雄割拠の状況だ。トップ同士の対戦もさることながら、実力拮抗のトーナメントを誰が制するのかにも注目が集まる。

日本選手では、4月のシンガポールオープンでSS初優勝、6月のインドネシアオープンで早くも2勝目をとげた若きホープ・桃田賢斗や、前回の優勝ペアで中国にも実力で引けをとらない高橋/松友などが、ホームの利を生かして頂点をねらう。このほかにも、本大会での上位経験がある山口茜(13年優勝)、田児賢一(13年準優勝)、前田/垣岩(14年準優勝)も世界の精鋭と対等に闘う力があるだけに、すべての種目で上位進出の期待ができそうだ。



トマス杯・ユーバー杯…世界男女国・地域別の団体戦
スディルマン杯…世界男女混合国・地域別の団体戦
※世界ランキングは6月4日付け

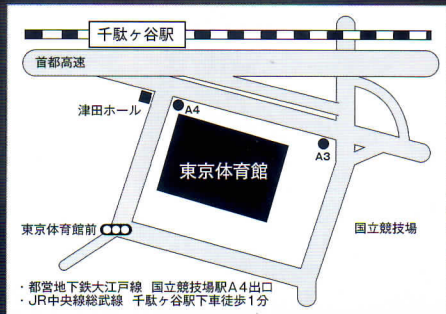
2015 9/8 ~ 13

| tue | | sun |

主催 (公財)日本バドミントン協会(NBA)
公認 世界バドミントン連盟(BWF)
主管 東京都バドミントン協会
後援 東京都
冠協賛 ヨネックス(株)
協力 (株)ベースボール・マガジン社
(バドミントン・マガジン)

東京体育館

(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1)



スケジュール

日程	予選	開場	開始	種目
9/8(火)	予選	9:00	10:00	
9(水)	1回戦	9:00	10:00	男女シングルス
10(木)	2回戦	9:00	10:00	男女ダブルス
11(金)	準々決勝	10:00	12:00	混合ダブルス
12(土)	準決勝	10:00	12:00	
13(日)	決勝	10:00	12:00	

※開場・試合時間は変更になる場合があります。 ※出場予定選手は諸事情により変更となる場合がありますので予めご了承ください。 ※出場選手は規定により2015年7月下旬以降に決定し、大会HPにて発表致します。 ※各日のドロー・タイムテーブル・イベントの詳細は大会HPをご参照ください。

入場料金

8日	全席自由	500円	前売・当日共
9日10日	アリーナ席	3000円	当日3500円
	スタンド席	1500円	当日2500円
	高校生(スタンド席)	700円	当日1000円
11日	アフター5(スタンド席)	1000円	当日共
	アリーナ席	3500円	当日4000円
	スタンド席	2000円	当日2500円
12日13日	高校生(スタンド席)	700円	当日1000円
	アフター5(スタンド席)	1000円	当日共
	アリーナ席	5500円	当日6000円
6日間通し券	スタンド席	3000円	当日3500円
	中高校生(スタンド席)	1000円	当日1500円
	小学生(スタンド席)	500円	当日共
6日間通し券	アリーナ席	14000円	
	スタンド席	7500円	

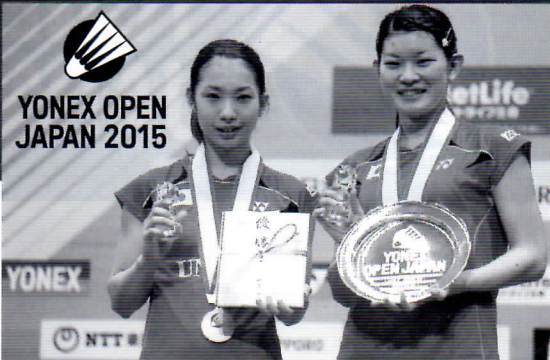
※アフター5チケットは17時より入場可能。
※未就学児童は期間中無料(アリーナ席は膝上での観戦は無料、席が必要な場合は有料)
※8日~11日は中学生以下無料
※12日(土)・13日(日)のアリーナ席購入者には大会プログラムをプレゼント(入場時に配布)
※6日間通し券は大会期間中に会場券売所にて6枚つづりチケットと交換いたします
※日本バドミントン協会証をご提示いただくと当日券が前売り料金で購入できます
※障害者手帳をお持ちの方は、試合当日、会場のチケット窓口にて、当日チケットを半額で購入できます(前売りは行いません)。

チケット販売

●E+ (イープラス)
PC・モバイル: <http://eplus.jp/>
店頭販売: ファミリーマート(24時間購入可/発売初日は10:00~)

●チケットぴあ
Pコード: スタンド券・アリーナ券など期日指定券
▼829-512
▼683-882
電話予約: (0570) 02-9999 Pコード予約
PC・モバイル: <http://pia.jp/t/>
※24時間受付。毎週火・水2:30~5:30はメンテナンスのため休止
店頭販売: チケットぴあ(営業時間は店舗により異なります)
セブンイレブン(24時間購入可/発売初日10:00~)
サークルK・サンクス(7:00~23:30/発売初日は10:00~)

●ローソンチケット
Lコード: 予選9/8 ▼34142
本戦9/9~13 ▼34143
6日通し券 ▼34144
電話予約: (0570) 084-003 ※24時間受付
PC・モバイル: <http://l-tike.com/sports/yonexopenjp/>
店頭販売: 全国のローソン店内設置「Loppi」
※チケットぴあ及びローソンチケットの電話予約は、一部の携帯電話・PHS・IP電話からはご利用できません。



大会公式ホームページ

PCサイト

www.yonexopen.jp.com

ヨネックスオープンで検索!

Q ヨネックスオープン

検索

